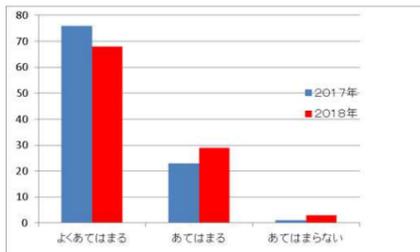


学校目標	カトリックの人間観・世界観 (man for others) にもとづく教育を通して、愛・奉仕・正義に生きる子どもによるBig Smile Schoolを実現する。
	最新の教育システムである21世紀型教育により、「クリエイティブな思考力」、「自分の考えを他人にもわかるように表現する力」、「互いが納得できる最適な答えを見つける課題解決に協働できる力」の3つの力を育成し、「man for othersの精神に基づいた平和な社会を作り出す子供たちを育成する。」

21世紀型教育

課題解決学習 (PBL)	変化の激しい社会への対応力を育成するProject Based Learning
英語教育	「I think~, because…」という思考力を育成する英語教育
ICT教育	高度情報化社会の「情報活用能力」を育成するICT教育

重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価	学校関係者評価
21世紀型教育実践・ICT教育充実 (PBL・英語教)	1. 最新の教育システムの導入	・イマージョン授業の円滑な導入と実施ができたか。 ・学年進行に合わせたPBL授業の導入・実践ができたか。	・新1・2年生新コース体制 スーパーイングリッシュコース(英語イマージョン)とスーパースタディーズコース(課題解決型学習)の2コース体制の実施 ・従来の3年生から6年生 21世紀型授業を段階的に導入、思考コード作りに伴う課題解決学習(プロジェクトベースラーニング)を段階的に実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日学校に行くことを楽しみにしているわが子を嬉しく思っています。 ・「聖母」最後の入学生として、聖母の美德を留めつつ、新しい「ヌヴェール」としての歩みを進めてほしい。 ・優しさを育む教育が行われていて、みんな素直な心を持った子に育っていると感じている。学習面でも満足している。 ・1年間、大変お世話になりました。子どものことで相談させていただいたとき、丁寧に対応していただき感謝しています。親として、安心して毎日学校へ送り出すことができました。 ・21世紀型教育への取り組みについて、今後の息子の成長とあわせて期待しています。 ・子どもの日常に対する相談にもすぐに対処していただき感謝しています。21世紀型教育への移行に少し不安もありますが、子どもたちでよき改革となりますようみまもっています。よろしくお願ひします。
	2. 学校生活への満足度アップ (1) 英語教育	・英語による質問や発語に慣れ、英語でコミュニケーションしようとする意欲が育ったか。	複数担任制の実施 ・新1・2年生 両コースにおいて実施。 ただし、新2年生スーパースタディーズコースは、2クラスを3つに分けて実施。 ・3年生から6年生 英語授業において1クラスを2つに分けて実施	
	(2) ICT教育	PBL学習を促進するツールとしてipad使用がいろいろな場面で使用できたか。	・課題解決学習に適した効果的なICT機器利用の実施	
	(3) 探究型教育(PBL授業)	教員の資質向上のための課題解決型学習の研修の有無	教員の資質向上のための課題解決学習の研修 ・高次思考による課題解決学習(プロジェクトベースラーニング)の実施 ・アクティブラーニング教室の積極的利用	
教育のレベル向上	21世紀型教育実施のための各種研修	各種研修の実施の有無	(1) 21世紀型教育実施のための各種研修の実施 i) 英語教育 ・イマージョン教育の研究および研修 ii) 探究型教育 ・高次思考による課題解決学習(プロジェクトベースラーニング)の思考コード作成の研究と研修 iii) ICT教育 ・課題解決学習に適した効果的なICT機器利用の研究および研修 iv) 宗教教育 ・カトリック精神の理解と醸成のための研究(聖書)および研修 ・宗教科授業の評価の研究 ※ i) ~ iv) は各部会やプロジェクトチームを設置 v) 生活指導・保護者対応、発達障害対応(外部講師) ・校内教員研修の実施 (2) 自己点検と評価 i) 思考コード、思考レベルに基づく評価表による授業の振り返り ii) 自己申告表による教育目標実践状況確認と管理職教員との定期的面談における自己点検 iii) 学校評価アンケート(保護者・児童・教員)の実践と分析	 <p>子どもを入れて満足している (保護者アンケート)</p>
教育環境の整備	安心・安全な環境の構築	各種工事の実施	(1) 設備の点検と改修 ・PCB含有安定器処理及び照明機器改修(法令による実施) ・防火設備定期点検 ・クロックルーム靴箱の更新 (2) 防災・防犯設備 ・ベルナデッタホール空調機器更新	
募集・入試に係る事業	新入生募集定員確保	・本校教育活動への信頼感獲得とアドミッションポリシーの理解の浸透は実現したか ・募集定員90名の充足	募集活動の強化 ・新入生募集定員確保 本校教育活動への信頼感獲得とアドミッションポリシーの理解の浸透を目指した。 ・6月の学校公開授業によって21世紀教育の具体的発信した。 ・ホームページの更新とFacebookによる学校情報発信の頻度を高め、ステークホルダーのみならず、一般の方々にも本校の21世紀型教育の充実をアピールした。 ・募集関連行事として幼児体験会を企画し、体験会の内容と本校のアドミッションポリシーとの関連の説明に努めた。 ・2019年度入学生は88名(前年度より18名減)となった。	